

令和4年度シラバス(国語)

学番56 新潟県立八海高等学校

教科(科目)	国語(国語表現)	単位数・2単位	学年(コース)	3学年(普通科スポーツコース)
使用教科書	大修館書店『国語表現 改訂版』			
副教材				

1. 学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

2. 指導の重点

- ・適切に表現する書く能力の習得を目指す。
- ・適切かつ効果的に話す力の習得を目指す。
- ・正確に聞き取る力の習得を目指す。

3. 学習計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動(指導内容)	時間	評価の方法
4 7 月 (一学期)	声とコミュニケーション	ショートスピーチをしよう	書くこと、話すこと 聞くこと、書くこと	・毎時間、一人ずつショートスピーチを行う。 ・聞く人にわかりやすくするために、話す内容について、メモまたは原稿を作る。 ・ショートスピーチを聞き、聞き取りメモおよびアドバイスメモを書き、採点する。	2	スピーチメモ 評価表 等
	自己PR	自分を見つける	書くこと	・「今年の目標」を書く。 ・書いた文章を、生徒同士が互いに読み合い、アドバイスを述べあう。	3	授業の取り組み 提出物
	書いて伝える	整った文を書く わかりやすい文を書く 文のつながり方	書くこと	・読む人にわかりやすく、正確に伝えるため、表記や文章について学ぶ。 ・適切な敬語を学ぶ。 ・絵や写真を見て書く。	9	
	書いて伝える	構成を考えて書く。 小論文・レポート入門 「きらきらキラリ」への投稿	書くこと 読むこと、書くこと 書くこと、話すこと	・「体育祭の思い出」を書く。 ・書いた文章を、生徒同士が互いに読み合い、アドバイスを述べあう。 ・「小論文とは何か」を理解する。 ・反論を想定して書く。 ・新潟日報「きらきらキラリ」へ投稿する。	3 8	
声とコミュニケーション	ショートスピーチをしよう	書くこと、話すこと 聞くこと、書くこと	・毎時間、一人ずつショートスピーチを行う。 ・聞く人にわかりやすくするために、話す内容について、メモまたは原稿を作る。 ・ショートスピーチを聞き、聞き取りメモおよびアドバイスメモを書き、採点する。	2	スピーチメモ 評価表 等	
8 1 2 月 (二学期)	書いて伝える	構成を考えて書く 読む人を意識して書く	書くこと 読むこと	・「夏の思い出」を書く。 ・書いた文章を、生徒同士が互いに読み合い、アドバイスを述べあう。	3	授業の取り組み 提出物
	自己理解と自己PR	長所・短所を見つける 効果的な自己PR 志望動機をまとめよう 将来の自分を考えよう	書くこと	・長所・短所をまとめる中で自己理解を深める。 ・他者への自己PRの方法を考える。 ・志望動機をまとめる中で、自己理解を深める。 ・将来像をイメージさせることで、努力の必要性を理解する。	10	
	書いて伝える	好きな食べ物を紹介する	書くこと 読むこと	・相手により正確に理解してもらう工夫をする ・書いた文章を互いに読み合い、アドバイスを述べあう。	4	
	書いて伝える	物語を作る 構成を考えて書く。 「きらきらキラリ」への投稿	書くこと 読むこと 書くこと 書くこと、話すこと	・数枚のイラストから自由に発想を広げ、物語を作る。 ・書いた文章を互いに読み合い、アドバイスを述べあう。 ・「秋華祭の思い出」を書く。 ・書いた文章を、生徒同士が互いに読み合い、アドバイスを述べあう。 ・新潟日報「きらきらキラリ」へ投稿する。	6 5	
1 2 月 (三学期)	適切な表記・表現	電話を使いこなす メディアと情報 適切な会話	書くこと	・電話での会話の正しい言葉遣いを学ぶ。 ・新聞、TV、インターネット等のニュースの取り上げ方を比較する。 ・相手や場面に応じた会話ができるようにする。	8	授業の取り組み 提出物
	手紙	恩師への手紙を書く	書くこと	・一般的な手紙の形式を学ぶ。 ・それをふまえた上で、恩師への手紙を書く。	6	
	書いて伝える	自分を見つける	書くこと	・「三年間の思い出」を書く。 ・書いた文章を、生徒同士が互いに読み合い、アドバイスを述べあう。	3	

計 72 (55分授業)

4. 課題・提出物等

- ・長期休業中の課題については、別途指示します。

5. 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)		(知識・理解)	
関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	
・積極的に学習に参加している	・聞く人を意識して、場に応じて、効果的に話すことができる。 ・話す人の伝えたいことを、正確に聞き取ったり、また不十分な点をアドバイスできるようにしている。	・論理の構成や展開を工夫し、自分の考えを文章にまとめることができる。	・文章の内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえることができる。	・基本的な漢字の読み書きや、語句の意味が理解できる。 ・口語のきまりや言葉遣い、敬語の用法について理解できる。

以上の観点をふまえ、定期考査や小テスト、課題テストの結果・授業態度や意欲、関心・提出物や課題の内容・予習状況 などから総合的に評価する。